

**フードテクノロジー
CEO商談会(オンライン)**
Food × Technology
日本の食と技の融合
参加海外企業リスト

主 催 : 独立行政法人 中小企業基盤整備機構

後 援 : 経済産業省、中小企業庁

(順不同・敬称略) **国際機関日本アセアンセンター、独立行政法人日本貿易振興機構、独立行政法人国際協力機構**

株式会社日本政策金融公庫、株式会社商工組合中央金庫、信金中央金庫

一般社団法人日本食品機械工業会、一般社団法人日本包装機械工業会

一般社団法人日本能率協会 FOOD EX JAPAN 事務局

|目次|

第1期 対象国・地域

- ベトナム … P.4~7
- 台湾 … P.8~12
- ミャンマー… P.13~16

第2期 対象国・地域

- タイ … P.17~23
- インドネシア … P.24~25

|スケジュール|

第1期 スケジュール

2021年3/8 (月) ~3/12 (金)

第2期 スケジュール

2021年3/22 (月) ~3/26 (金)

|商談目的アイコンの見方|



日本企業からの製品輸入



代理店契約



製造受託/委託



合併会社の設立



技術提携・共同研究



日本企業への製品販売

【免責事項】

- 本リストは、海外企業各社からご提出頂いた資料をもとに作成しております。
- 本リストに記載の事項につきましては、ご利用者のご判断・ご責任のうえご利用ください。
- 本リストの使用に関して、ご利用者が不利益を被る事態が生じたとしても、中小企業基盤整備機構および本リストの作成者は一切の責任を負いかねますこと、あらかじめご了承ください。

海外CEO商談会の特徴

参加無料!

1 自社で海外企業と ダイレクトに商談

海外企業の経営陣との商談
に自社から参加できます。

2 新潮流に合わせた オンライン商談会

はじめてでも安心の接続
テスト、マニュアル付き。

3 すべての商談に 各国の通訳付き

常に通訳がついているので
安心して商談頂けます。

4 中小機構専門家の 商談サポート

中小機構専門家が商談を
サポートします。

お申込みから商談会までの流れ

1. 申込フォームの入力

以下のURLの申込フォームから入力

<https://www.smrj.go.jp/sme/market/ceo/favgos0000013mcj.html>

2. 早期にお申込み頂くと...

1月22日(金)正午までにお申込みいただくと、企業情報の一部を英訳して海外企業に送付し、海外企業から「商談リクエスト」を受け付けます。

3. 2週間前に商談予定をお知らせ

2週間前を目途に当日の商談会の予定をご案内いたします。

4. 接続テスト・マニュアルのご案内

商談会前に事前接続テストのご案内をお送りいたします。
※TV会議システムの利用マニュアルも送付

5. 当日(オンライン商談の開催)

当日の商談時間は50分です。
【モデル面談】自己・自社紹介(10分)→本論(30分)→クロージング(10分)

VN01

ランソン・シュガー

Lam Son Sugar



|参加予定者| 部長 / レ・ヴィエ・フン
|本社| タインホア (ベトナム北部)
|HP| <https://lasuco.vn>

- 設立 : 1980年
- 資本金 : 95億円
- 従業員 : 1,000名
- 売上高 : 63億円
- 事業内容 : 砂糖製造業
- 主要製品 : 砂糖関連製品、農産品 (さとうきび、有機米、野菜等)、さとうきびジュース、ライスミルク等
- ISO等 : FSSC22000、ISO9001、HACCP

- ベトナム最大手の製糖企業であり、さとうきび、米等の各種農産品や飲料事業も手掛ける。
- 日本、イスラエル等との共同プロジェクトやベトナム農業科学研究所 (VASS)との連携により新技術の導入に積極的。
- 砂糖、農産品の分野では高い生産技術力、品質水準を維持し、経験豊富な熟練人材を多く有する。
- 環境対応にも優れ、さとうきびの副産物であるバガスやバイオ炭を飼料や燃料に利用している。
- 日本企業との連携により、さとうきびや米から新製品を開発し、日本向けに販売することに特に関心が高い。
- 商談では、販売、OEM、技術連携、合併等の幅広い討議を期待している。

VN02

M&H・インベストメント

M&H Investment Corporation Limited

ベトナム



|参加予定者| 社長 /グエン・ミン・フン
|本社| ホーチミン
|HP| <http://mhcorp.vn/>

- 設立 : 2016年
- 資本金 : 1億4,000万円
- 従業員 : 98名
- 売上高 : 3億7,000万円
- 事業内容 : 飲料水製造業
- 主要製品 : ミネラルウォーター
- ISO等 : Eurofins VN

- ・ ホーチミン近郊のタイニン山脈の地下水を利用したミネラルウォーター「Green Life」を製造する飲料水メーカー。
- ・ ベトナム最大手のタクシー事業者「マイリントクシー」のCEOが2016年に設立した若い企業。
- ・ 事業多角化のために、タクシー広告、太陽光発電に加え、2017年から飲料水事業に進出。コーヒー事業も開始。
- ・ 飲料水の売上高比率はまだ10%未満だが、タクシー車内での販売や自前の広告媒体を強みに新規事業拡大を狙う。
- ・ 喫緊の課題は10年前の技術である飲料水製造工程の改良、自動化。
- ・ 商談では日本企業と技術連携して、フィルター濾化、オゾン殺菌、RO処理から、充填、キャッピングまで一連の工程を見直したい（特に充填、キャッピング工程）。
- ・ また、太陽光発電（ソーラーパネル）を活用した食品原料の現地生産あるいは生産委託に関心のある日本企業との連携にも期待している。

VN03

QCM・テクノロジーズ

QCM Technologies JSC

ベトナム



|参加予定者| 社長 /チュオン・グエン・タン
|本社| ダナン
|HP| <https://qcm.com.vn>

- 設立 : 2011年
- 資本金 : 1億6,000万円
- 従業員 : 30名
- 売上高 : 1億1,000万円
- 事業内容 : 食品加工機械製造業
- 主要製品 : 選別機、調理機、フライヤー、菓子製造機、乾燥機、包装機等の各種食品加工機
- ISO等 : ISO9001

- 海産物、農産物を中心に食材、食品用の加工機械を専門に手掛けるメーカー。
- 機種は、エビのサイズ選別機、魚さばき機、ナッツ皮むき機、液体肥料充填機、乾燥機等、多岐にわたる。
- 顧客の要望に合わせた、機械の設計、製造、据え付け、メンテナンスまでの一貫したサービス提供が強み。
- 製品を主に地場の食品加工業者に納入し好評を得ており、日本への輸出、OEM供給の実績もある。
- 日本からは魚類加工機械、たこ焼き製造機等のOEM受託製造、魚スライス機に関する技術導入に関心あり。
- 自社の食品加工機械の日本向け販売にも関心が高く、日本での新規顧客を探している。
- ベトナム事情に合った食品加工の段階的な自動化・省コスト化に関する日本企業からの提案にも期待している。

VN04

バンブー・インターナショナル

Bamboo International Joint Stock Company

ベトナム



|参加予定者| 取締役 / リリ・チー
|本社| ハノイ
|HP| <https://bamboointer.com/>
<http://dnaholding.com.vn>

- 設立 : 2015年
- 資本金 : 53億円
- 従業員 : 2,500名
- 売上高 : 21億円
- 事業内容 : 食品製造販売業
- 主要製品 : 各種ソース類 (原料 : 魚、チリ、大豆)、菓子類 (クッキー、クラッカー等)、農産物
- ISO等 : FSSC22000、ISO22000、ISO9001、HACCP

- 主に各種ソース類、菓子類を手掛ける食品大手グループ (DNA Holding) のトレーディング企業。
- 売上高構成の3割がソース、しょうゆ等の調味料、6割がクッキー等の菓子類。野菜、フルーツ等の農産物も手掛ける。
- 米国、中国、日本、東南アジア諸国等、多くの国に自社製品を輸出している。
- 主要事業であるソース、魚醤等の調味料製品ではグループ内のAshimi Foodと生産連携している (写真左)。
- ソースの製造ライン(写真右)は日本製を採用しており、調合、精製、殺菌等の一連の設備を有する。
- 商談では、しょうゆ、ソース類の生産受託(OEM)に最も関心が高い。自社製品の日本での代理店候補との討議にも期待。

TW02

ジン・イン・ファ・メカニカル

Chin Ying Fa Mechanical Ind, Co., Ltd.

台湾



|参加予定者| 部長 / ハンク・シイ

|本社| 彰化市

|HP| <http://www.cyf.com.tw/index.html>

- 設立 : 1971年
- 資本金 : 1億9,000万円
- 従業員 : 50名
- 売上高 : 6億8,000万円
- 事業内容 : 食品加工機械製造業
- 主要製品 : 滅菌・殺菌窯、圧力釜、蒸煮、醸造・発酵関連設備など
- ISO等 : ISO9001、圧力容器に関する各種認証

- ジェグテック会員企業でこれまでも日本企業との関係は深い。
- 食品加工機械設備全般の製造。特に殺菌窯、圧力容器、抽出装置などに強みを持つ。
- 中でも、飲料や缶詰などの殺菌処理装置の製造を得意としている。
- 現在の販売先は中国と東南アジア各国（ベトナム、インドネシア、シンガポール）。
- 商談では日本企業と圧力容器、高温高圧自動滅菌器や食品加工の技術について情報交換や連携を検討したい。特にこの分野における日本企業のニーズやトレンドを理解したい。

TW03

ツォン・シン・テクノロジー

Tsung Hsing Technology Co., Ltd.

台湾



|参加予定者| 部長 / アダム・チェン

|本社| 高雄市

|HP|

<https://www.tsunghsing.com.tw/en/index.html>

- 設立 : 1965年
- 資本金 : 1億円
- 従業員 : 50名
- 売上高 : 157億円
- 事業内容 : 食品加工機械製造業
- 主要製品 : ミキサー、フライヤー、乾燥機、選別機など
- ISO等 : ISO22000

- TSHSブランドで知られる小麦粉製品加工（菓子やスナック）の連続製造ラインの製造を得意とする
- TSHSはフライ機分野の専業で高い熱回収率と熱交換率を実現。実効熱回収率は20%で排気温400℃と他社に比べ200℃程度低く抑えることができる。
- また、乾燥機分野でも数多くの顧客の要望に応える製品を供給してきた。
- 多国籍の特許や認証を取得しており、主に東南アジア市場や日本の大手食品メーカーに製品を提供している。
- 商談では日本市場の開拓を目的として、菓子・スナックメーカーへの製品の販売及び販売代理店を探している。

TW04

クアンフード・インターナショナル

Quanfood International Co., Ltd.



|参加予定者| 社長 /エミリー・チャン
|本社| 新北市
|HP| <https://www.quan-food.com/>

- 設立 : 2015年
- 資本金 : 1億500万円
- 従業員 : 7名
- 売上高 : 4,800万円
- 事業内容 : 植物ベースの肉製品の開発及び製造業
- 主要製品 : 冷凍肉及びベジタリアン食品
- ISO等 : ISO22000、HACCP

- いわゆる植物肉の開発及び製造企業で主にハンバーガー用のステーキ（パテ）を製造。バーガー用ステーキの生産能力は年200万食。
- 主原料は大豆。低カロリーでコレステロールフリーが特徴で、健康志向の消費者や病院食に適している。
- 一般的に植物肉は熱処理により食味が落ちやすい傾向にあるが、独自の技術でジューシーでおいしい食感を実現。
- アジアの食習慣に合わせて開発された製品は、ラザニア、ミートボールやライスバーガーなどに加工し簡便食としての機能も持つ。
- 商談では日本市場の開拓のため、販売代理店の起用を相談したい。
- また、更なる研究開発を進めるため、日本企業との技術連携なども探りたい。

TW05

台湾・マユミ・トレーディング

Taiwan Mayumi Trading Co., Ltd.

台湾



|参加予定者| 部長 / ファン・チュン・チー
ミカミ・アケミ

|本社| 台北市

|HP| <https://www.mayumi.com.tw>

- 設立 : 1992年
- 資本金 : 4,000万円
- 従業員 : 30名
- 売上高 : 12億6,000万円
- 事業内容 : 菓子類の輸入販売業
- 主要製品 : Kenjiブランドのパイやビスケット、赤い帽子のクッキー、辻利の抹茶ミルク、マルタイラーメンなど日本企業とのコラボ製品
- ISO等 : 台湾の製造委託工場はHACCPやISO22000の認証取得済み

- Kenjiブランドのパイやビスケットを日本の技術を導入した台湾の協力工場で製造し、台湾市場を始め中国や韓国に輸出販売している。
- 日本のブランド「チボリの赤い帽子」「ブルボン」「春日井」「マルタイ」など委託生産し輸入販売している。
- 中でも「辻利」は海外戦略的パートナーとしてKenjiとダブルブランドで商品化している。
- 商談では技術力の向上、新たな日本ブランド発掘、アウトソーシングを目的に日本の食品メーカーとの協業を目指す。
- 特に技術連携に関してはキャンディー、クッキー、飲料、アイスクリームのカテゴリーの製造技術に関心高い。

MY01

ナチュラル・ファーム・フレッシュ・ミャンマー

Natural Farm Fresh Myanmar Co., Ltd.

ミャンマー



|参加予定者| 社長 / ネイ・ウー・チー

|本社| ヤンゴン市

|HP|

<http://www.naturalfarmfreshmyanmar.com/>

- 設立 : 2017年
- 資本金 : 2,100万円
- 従業員 : 20名
- 売上高 : 4,000万円
- 事業内容 : 香辛料等の食品製造加工業
- 主要製品 : 唐辛子、ターメリック、しょうが、にんにく、レモングラス
- ISO等 : ミャンマーFDA、HACCP

- ドイツの化学品メーカー Covestro 社などの技術支援で設置したソーラー乾燥ドームで加工。
- ドーム型設備による乾燥は、異物混入、カビ毒のアフラトキシンを抑制でき、高品質で衛生的。
- マンダレー地区産の唐辛子として初めてFDA認証を取得。「Mr. スパイシー」のブランド名で知られる。
- 商談では香辛料の日本向けにOEMによる供給を期待している。
- また、日本の製造加工技術、特に生産・エネルギー効率の高い殺菌法や粉末製品の包装技術に加え、ターメリック、しょうが、レモングラス等の精油抽出技術などに興味がある。

MY02

ミャンマー・ゴールデン・プロデュース

Myanmar Golden Produce Co., Ltd.

ミャンマー



|参加予定者| 社長 / ナウン・ナウン・ウィン
|本社| マンダレー市
|HP| <http://www.myanmargp.com>

- 設立 : 2012年
- 資本金 : 1億7,000万円
- 従業員 : 67名
- 売上高 : 14億円
- 事業内容 : 果物類主体の食品製造加工業
- 主要製品 : マンゴー (生、ドライ、ピューレ)、バナナチップ、ひよこ豆、トマトピューレ
- ISO等 : GMP、ミャンマーFDA、Halal、ISO22000 (申請中)、HACCP (申請中)

- ミャンマー投資委員会 (MIC) 認可事業。工場は首都ネピドーにある。
- ミャンマーの代表的なマンゴー品種 Sein Ta Lone の輸出第1位。10カ国以上に輸出。
- 農家に対する支援や女性の積極的雇用、サプライチェーンの構築など、社会との共生を心掛けており ESG経営を実践している。
- 商談では日本市場向けにマンゴーピューレや乾燥野菜などOEMの製造受託、そのための販売代理店契約や合併事業など期待。
- また、乾燥フルーツや野菜などの共同開発にも興味があり、食品加工・包装関係の企業との商談に興味ある。

MY03

デロス

Delous Co., Ltd.

ミャンマー



|参加予定者| 社長 / ミン・ティ・ハ
|本社| ヤンゴン市
|HP|

<http://www.facebook.com/seintraditionalsauce/>

- 設立 : 2014年
- 資本金 : 400万円
- 従業員 : 120名
- 売上高 : 1億6,000万円
- 事業内容 : 食品製造加工業
- 主要製品 : チリソース
- ISO等 : ミャンマーFDA

- オリジナルブランド“Sein Traditional Sauce”は最も本格的なミャンマーの伝統的なソースの一つ。
- タイ企業と共同で伝統的なソースの製造に近代的な生産システムを導入した最初の企業。
- 消費者・顧客がミャンマーの伝統料理を楽しめる地場の食文化を支援する地場産業のリーダーを目指している。
- 商談では日本の加工技術や食の安全・衛生管理技術について話し合いたい。
- また、そのために必要な機械設備・装置の導入にも興味ある。

MY04

フードコープ

FoodCorp Co., Ltd.

ミャンマー



|参加予定者| 社長 / テェ・ミヤ・トウ
|本社| ヤンゴン市
|HP|

<http://www.facebook.com/gustocake/>

- 設立 : 2017年
- 資本金 : 240万円
- 従業員 : 44名
- 売上高 : 2,300万円
- 事業内容 : 菓子製造業
- 主要製品 : ケーキ、クッキー
- ISO等 : ミャンマーFDA

- ニュージーランド産バター100%、高品質のミルク、小麦粉、その他良質な原料を使用し保存料無使用のホームメイドケーキを“GUSTO”ブランドで製造販売。
- ミャンマー国内の販売チャネルは大手小売業40%、小規模店舗55%の構成比。
- GUSTOブランド製品を保存料無しでいかにフレッシュな状態で賞味期限を延ばすことができるか、現在、日系の化学メーカーと共同で研究開発を進めている。
- 商談ではそうした品質保持技術に加え、包装技術や衛生管理技術について話し合いたい。もちろん、それに伴う設備や機器の導入も検討したい。
- また、日本など海外市場への販路拡大にも興味ある。

TH01

ランナ・アグロ・インダストリー

Lanna Agro Industry Co., Ltd.

タイ



|参加予定者| 社長 / タラトーン・ドクトウリン
(技術エキスパート)

|本社| チェンマイ市サラフィ

|HP| <http://www.lannaagro.com/>

- 設立 : 1993年
- 資本金 : 6億3,000万円
- 従業員 : 1,000名
- 売上高 : 51億円
- 事業内容 : 農産物製造加工業
- 主要製品 : 冷凍枝豆・野菜・果物、チョコレートコーティッドフルーツ、フルーツペースト等
- ISO等 : HACCP、FSMA (バルク食品安全強化法)、GMP、Halal

- 1993年創業以来、世界中の顧客に冷凍枝豆・野菜・フルーツや加工食品を提供している。
- バルク製品を中心としたOEM (製造受託) と「みんなまめ」「えだまめジュース」「Choco Fruiz」など自社ブランドも展開。日本を始め、中国、中東などにも輸出。
- 専門家の指導に基づく緻密な栽培計画で契約農家に対し買取価格を保証、高品質な作物を収穫している。
- 工場では、最新鋭の機械による洗浄/加工を行っており衛生的で高品質な製品を生産。
- 商談会では、新技術導入のための技術連携を求める。具体的にはコストと水量を減らす「洗浄機」「蒸機・茹機」、野菜やフルーツなど様々な製品に対応できる「冷凍機」、野菜やフルーツの「皮むき機」、生産効率を上げるためのAIやロボットの導入、生産管理全般など。

TH02

アンポルフード・プロセッシング

Ampolfood Processing Ltd.

タイ



|参加予定者|
社長 / クリアンサ・テッパドゥンボーン
|本社| サムプラン
|HP| <http://www.ampolfood.com>

- 設立 : 1998年
- 資本金 : 2億7,000万円
- 従業員 : 1,692名
- 売上高 : 100億円
- 事業内容 : 食品製造販売業
- 主要製品 : ココナッツミルク食品、玄米飲料、スープ、カレー、ソース類、スナック菓子
- ISO等 : FSSC22000、ISO22000、ISO9001、HACCP、ISO14001

- 食品製造大手企業グループ。
- グループ傘下に食品加工、製品開発、小売り、配送、レストラン等の事業を担当する関連会社がある。
- 取扱製品群は、ココナッツ製品、飲料、調理食品、調味料、菓子の5事業分野に分かれる。
- 各種の認証を保有し、自社製品を北米、欧州、豪州、日本、中国、アジア諸国等、多くの国に輸出している。
- 食品加工のために保有する主な設備はUHT（超高温殺菌機）等。
- 商談では自社製品の日本向け輸出の拡大及び日本からの食品関連技術の導入に関心が高い。
- 特にフリーズドライ分野での技術連携の討議を期待している（自社カレースープのフリーズドライ化技術等）。

TH03

ACK・フード・テック

ACK Food Tech Co., Ltd.

タイ



|参加予定者|社長/パニダ・キャンシリ
部長/マンタナ・イエンカン

|本社| バンコク

|HP| <http://www.ackfoodtech.com>

- 設立 : 2001年
- 資本金 : 7億4,000万円
- 従業員 : 150名
- 売上高 : 8億4,000万円
- 事業内容 : 食品総菜製造業 (総菜ベンダー)
- 主要製品 : 野菜サラダ、ドレッシング、サンドウィッチ等
- ISO等 : FSSC22000、ISO9001、HACCP、GMP、GAP、Halal

- 販売チャネルは食品の卸売、小売、レストラン業界、ホテル、カフェなど外食産業中心。オーガニックの野菜サラダ(パック品)やサンドウィッチなどに加え、ドレッシングも製造している。
- タイ国内以外、マレーシアなどに輸出販売している。
- 商談では自社製品の日本市場への展開(販売)に加え、OEMの受注やJVなども検討したい。
- 特に技術関係では主力の野菜サラダの鮮度保持技術(現状6日⇒目標15日)の鮮度管理や包装技術など議論したい。

TH04

C.B.フード・テック

C.B. Food-Tech Co., Ltd.

タイ



|参加予定者|
社長 /タウィサ・ワンナティパヤポーン
|本社| バンコク
|HP| <http://www.cbfood-tech.com>

- 設立 : 1997年
- 資本金 : 7,000万円
- 従業員 : 8名
- 売上高 : 1億円
- 事業内容 : 食品加工機械販売業
- 主要製品 : エビ加工機 (選別・切断・皮むき)、パン粉製造機、充填機、フライヤー等

- 食品加工機械の輸入販売代理店。
- 主に日本製、欧州製の輸入加工機械を手広く扱う。エビ加工機は現地メーカーと連携して自社ブランド品を販売。
- 食品加工機械の販売に加え、生産ライン改善提案、エンジニアリング支援、メンテサービス等の提供も行う。
- 取扱製品は地場の食品関連企業や日系企業等多数納品されている。ベトナムへの輸出実績あり。
- 商談では、日本の食品加工機械の輸入販売代理店、パイナップルやツナ等の缶詰技術、スマートフードファクトリーへの新技術導入における連携、合併等の討議に関心が高い。

TH05

ジラポンフード

Jirapornfood Co., Ltd.

タイ



|参加予定者|

社長 / ジラポン・ポリシコンハーン

|本社| フィツアヌロク

|HP| <https://jirapornfood.com>

- 設立 : 2010年
- 資本金 : 350万円
- 従業員 : 30名
- 売上高 : 1億5,500万円
- 事業内容 : 天日干しバナナ類の製造業
- 主要製品 : スライス乾燥バナナ、原型乾燥バナナ、チョコレートディップ乾燥バナナ等
- ISO等 : HACCP、IFOAM、IFOAM-EU

- 1991年にファミリービジネスとして創業。2010年に現在のジラポン女史が率いる会社組織に発展的に改組した。
- 2012年ジラポン社長は“有機バナナ栽培組合”を結成し、バナナ農家向けに啓蒙と教育を開始。2013年に同社の有機バナナは、IFOAM, IFOAM-EU（オーガニック普及および認証団体）を得た。
- 完熟度/栄養価と歯ざわりが最高となる“開花後110日目”のバナナを天日乾燥することでバナナ製品の付加価値を飛躍的に向上させた。また、パッケージングにも工夫を施し、お土産・贈答品としての需要も開拓した。同社は現在、パラボラドーム形状の天日干し設備を10セット有するが、さらに増設する計画。
- 商談会では、同社製品の日本市場での販売に向け代理店やOEM 製造委託に関心のある企業との面談を期待。

TH06

ティー・ギャラリー・グループ(タイ)

Tea Gallery Group (Thailand) Co., Ltd.

タイ



|参加予定者| 社長 / スワリー・キアカルン
|本社| チェンマイ
|HP| <https://teagallerygroup.com>

- 設立 : 2009年
- 資本金 : 800万円
- 従業員 : 40名
- 売上高 : 5,300万円
- 事業内容 : お茶とハーブ製品の製造業
- 主要製品 : ブレンド茶、昆布茶（発酵茶）及び発酵茶化粧品
- ISO等 : HACCP、GMP、Thai FDA、Halal

- 70年前にマー一家により創業され、現在はスワリー・キアカルン（女性）が率いる。
- 「先人の知恵を踏まえ」且つ革新的な健康飲料・食品を開発することが同社のビジョン。
- 最新鋭の機械と最高品質の原料を使って製品を製造している。
- 商談会では、自社製品の日本市場での販路拡大のため、代理店を発掘したい。
- 日本の製造技術にも関心があり、製造ラインの向上と特に充填、キャッピング、ラベリング技術や設備について話し合いたい。

TH07

M.A.P.フード

M.A.P. Food Co., Ltd

タイ



|参加予定者|

社長 / マナシス・トゥリスカッセン

|本社| バンコク南部ムットーサーコーン

|HP| <http://www.mapfood.co.th>

- 設立 : 2006年
- 資本金 : 1,000万円
- 従業員 : 100名
- 売上高 : 3億2,000万円
- 事業内容 : 冷凍食品製造業
- 主要製品 : シュウマイ・春雨・揚げまんなどの冷凍中華総菜、調理済み冷凍食品
- ISO等 : HACCP、GMP

- 外食向けに中華総菜の冷凍食品や調理済み食品、冷凍スナック（お好み焼き、餃子など）を製造。
- 自社ブランドは持たずにすべてB to Bのビジネス。R&Dチームが顧客と一体となり製品開発を進めている。
- HACCPやGMPの認証を取得し、品質管理向上に努めている。
- 現在の顧客はタイ国内が95%で輸出（台湾、英国など）が5%程度。3ラインの冷凍設備を備え、日産8-10トンの製造能力を持つ。
- 商談では日本市場での新たな顧客の開拓を図りたい。
- 生産効率の向上が当面の課題で、日本企業との技術連携も図りたい。

IN01

インドフード・サクセス・マクムール

PT. Indofood Sukses Makmur



|参加予定者| 副社長 / エルウィン・スダルマ
|本社| ジャカルタ市
|HP| <https://www.indofood.com/>

- 設立 : 1968年
- 資本金 : 81億円
- 従業員 : 約70,000名
- 売上高 : 5,362億円
- 事業内容 : 食品製造業
- 主要製品 : 消費者向け食品、飲料、スナック、パスタ・麺類等
- ISO等 : FSSC22000、ISO22000、ISO9001、HACCP、ISO12100、ISO14001

- インドネシア大手財閥サリムグループの中核企業で総合食品メーカー。
- グループ内で広い範囲の消費者向け食品、スナック、食品材料、飲料、調味料を製造販売。
- 農業部門では、種付けから収穫まで、パームオイル、サトウキビなどを料理油、マーガリン、ショートニング等に加工。
- 物流部門では、インドネシア全土をカバーする自社・第三者による流通網を構築。
- 今回の商談は製粉やパスタなどを取り扱うボガサリ（製粉本部）が参加。
- 日本企業とは、製粉技術・IOTなどの商談を期待している。

IN02

エスティカ・タタ・ティアラ

PT. Estika Tata Tiara Tbk



|参加予定者| 取締役 / グレース・アドエ
|本社| チカラン ブカシ
|HP| <http://ir.kibif.com>

- 設立 : 1995年
- 資本金 : 14億円
- 従業員 : 300名
- 売上高 : 96億円
- 事業内容 : 食肉加工品製造業
- 主要製品 : 精肉、ソーセージ、肉まん、肉団子等
- ISO等 : FSSC22000、ISO22000、ISO9001、HACCP、ISO12100、ISO14001

- インドネシアでは数少ない飼育から精肉・加工、販売までの食肉加工品一貫製造会社。KIBIFブランドが有名、各種ソーセージ、スモークビーフ、バーガーなど積極的に商品開発を行っている。
- ハラル認証を有しているほか、LOTTE マートや AEON 等、大手スーパーへの販路を有している点が強みで、冷凍輸送技術を有し、インドネシア証券取引所への上場も果たしている。
- 今後は、日本へも販路を拡大していきたい意向であり、Foodex Japan 2019に出展実績あり。
- 商談では、食肉食品加工機械・技術、特にナゲット等のパン粉・揚げ工程、パンの連続一貫製造工程および国際基準の包装技術に関心がある。また、ハラル製品を取り扱う企業、ホテル・レストラン・スーパー等に関連する企業との商談も希望。

|お問い合わせ|

商談会参加に関するお問い合わせ

フードテクノロジーCEO商談会(オンライン)
運営事務局

| 担当 | 田中、久積(ひさづみ)、鳥養(とりかい)
| TEL | 080-7756-4974
| Mail | food_ceo@noshikumi.com

商談会事業に関するお問い合わせ

独立行政法人中小企業基盤整備機構
販路支援部 販路支援課

| 担当 | 伊丹、大山
| TEL | 03-5470-2375
| Mail | ceo-network@smrj.go.jp

【免責事項】

- 本リストは、海外企業各社からご提出頂いた資料をもとに作成しております。
- 本リストに記載の事項につきましては、ご利用者のご判断・ご責任のうえご利用ください。
- 本リストの使用に関して、ご利用者が不利益を被る事態が生じたとしても、中小企業基盤整備機構および本リストの作成者は一切の責任を負いかねますこと、あらかじめご了承ください。